

エコアクション21

環境活動レポート

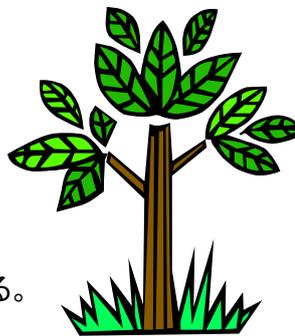
67期版（期間：2013年7月～2014年6月）

《目次》

・環境方針	
・組織の概要、対象範囲	p. 1
・環境目標及びその実績	p. 2-9
・環境活動計画と取組結果とその評価	p. 10
・次年度の取組内容	p. 11
・環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	p. 12-14
・代表者による全体の評価と見直しの結果	p. 15
・環境管理組織	p. 16

この木について

樹木名：クリップアート
樹齢：4年3ヶ月
生育地：環境レポート表紙
特徴：環境活動と共に、成長する。



日本資材株式会社

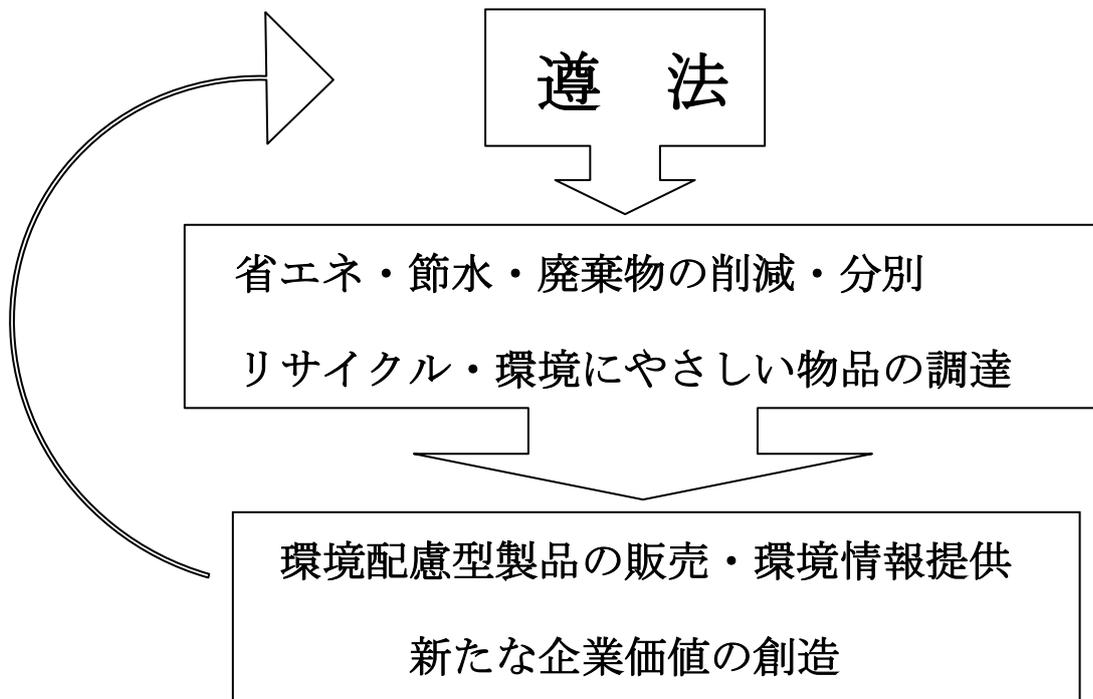
作成： 2014年11月25日

環境方針

持続可能な社会を構築にむけて、事業者が担う責任として、環境負荷の継続的な削減へ取り組み、環境経営を推進します。事業所内での省エネ、節水、廃棄物の削減、分別リサイクル等だけでなく、仕入から販売まで（川上から川下まで）の原料・商品の流れの中で、取り組むべき課題を問い、目標を定めて、全組織・全事業活動での環境負荷の削減を目指します。

基本方針は明快にして、着実に目標を達成致します。

- 一． 先ず、環境に悪いことをしない。（環境に関する法規等の遵守）
- 二． 次に、環境に良いことをする。（省エネ・節水・廃棄物の削減・分別リサイクル・環境にやさしい物品の調達）
- 三． 更に、環境配慮型製品の販売・環境情報提供を推進して、新たな企業価値の創造を目指します。



改定日：2010年9月29日

日本資材株式会社

取締役社長 **高野繁正**

□ 組織の概要

1) 名称及び代表者名

日本資材株式会社
代表取締役社長 高野 繁正

2) 所在地

本社 大阪府大阪市中央区博労町1丁目5番6号
 東京店 東京都中央区日本橋箱崎町31-4
 京都店 京都府南区上鳥羽岩ノ本町10
 名古屋店 愛知県名古屋市西区幅下2-18-12
 福井店 福井県福井市問屋町3-209
 福山店 広島県福山市道三町3-7
 見附店 新潟県見附市新町3-11-11
 R&Dセンター 滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923-2

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役統括部長 寺尾 周二 TEL : 06-6264-0222
 担当者 管理本部次長 本山 幸一 TEL : 06-6264-0222

4) 事業内容

生産緒資材(化学品の輸出入含む)、電子材料の開発・販売、ラミネート加工品及び機械器具類の販売並びに輸出入。

5) 事業規模

売上高 本社 5,006百万円(全社 12,435百万円) [2014年6月期実績]

	本社
従業員	28
延べ床面積 (m ²)	1,581

R&Dセンター
8
2100

(R&Dセンターは2008年度に認証取得済)

東京店	京都店	名古屋店	福井店	福山店	見附店	合計
12	3	3	9	1	1	65名
196	237	99	794	73	231	5,311m ²

6) 事業年度 7月~6月

□ 認証・登録の対象組織・活動

認証・登録番号 0006521

認証・登録日 2011年1月26日 有効期限 2015年1月25日

登録組織名: 日本資材株式会社 本社

東京店、京都店、名古屋店、福井店、福山出張所、見附出張所

活動: 産業資材全般, 電子材料, ラミネート加工品及び機能性フィルムの販売

2014年度（2013年7月～2014年6月）

□環境目標及びその実績

全社取組

項目		2009年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2014年度	評価 X△○
		基準年1	実績	実績	基準年2	目標	実績	
電力量使用あたりの CO2排出量 (都市ガス含み)	kg-CO2	43,097	40,710	37,865	65,798	65,140 △1%	64,252 △2.3%	○
			△5.5%	△12%				
自動車燃料使用量 あたりのCO2排出量	kg-CO2	27,422	24,884	22,188	68,891	68,202 △1%	67,612 △1.8%	○
			△9%	△19%				
CO2排出量 合計	(Kg/年)	70,519	65,594	60,052	134,689	133,342 △1%	129,886 △3.5%	○
			△6.9%	△14%				
一般廃棄物 (中間リサイクル含 み)	(Kg/年)		1,417	1,425	2,260	2,237 △1%	2,621 13%増	×
産業廃棄物 (マニユフェスト)	(Kg/年)		0	0	0	数値化	0	○
			廃棄無	廃棄無	廃棄無			
廃棄物排出量 合計	(Kg/年)		1,417	1,425	2,260	2,237 △1%	2,621 13%増	×
生活用水使用量 の削減	(m3/年)	447	288	354	635	628 △1%	525 △17.5%	○
			△48%	△21%				
化学品の販売量 (輸入量)	(トン/年)		***	345トン	378トン	輸入量 把握	500トン	△
社内グリーン購入の (オフィス用品含み) 向上	(購入達成率)	100%	100%	100%	8.5%	100%	12.7%	△
					(本社分)		(本社分)	
コピー用紙購入量の 削減	(Kg/年)	1,299	1,033	1,094	1,511	1,496	1,428	○
		(2010年)	△15%	△10%		△1%	△5.4%	

※電気使用あたりのCO2排出量は、基準年度のCO2排出係数0.366kg-CO2/kWh

※2012年から改正化審法(輸入量)で数値化

※2013年から全社実績

※コピー回数(本社) 参考データ

コピー機使用量	(回数)	今期	前期	対前年比
本社2階		42,440	40,614	104%
本社5階		70,702	65,573	108%

2013年度計画（2012年7月～2016年6月）

□中期環境目標

項目		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
		(基準年度)	(目標)	(目標)	(目標)
電力量使用あたりのCO2排出量 (都市ガス含み)	kg-CO2	65,798	65,140	64,482	63,824
			△1%	△2%	△3%
自動車燃料使用量あたりのCO2排出量	kg-CO2	68,891	68,202	67,513	66,824
			△1%	△2%	△3%
CO2排出量合計	(Kg/年)	134,689	133,342	131,995	130,648
			△1%	△2%	△3%
一般廃棄物 (中間リサイクル含み)	(Kg/年)	2,260	2,237	2,215	2,192
			△1%	△2%	△3%
産業廃棄物 (マニフェスト)	(Kg/年)	0	0	0	0
廃棄物排出量合計	(Kg/年)	2,260	2,237	2,215	2,192
			△1%	△2%	△3%
生活用水使用量の削減	(m3/年)	635	629	622	616
			△1%	△2%	△3%
化学品の販売量 (輸入量)	(トン/年)	378トン	輸入量把握	輸入量把握	輸入量把握
社内グリーン購入の (オフィス用品含み) 向上	(購入達成率)	100%	100%	100%	100%
		(本社分)			
コピー用紙購入量の削減	(Kg/年)	1,511	1,496	1,481	1,466
			△1%	△2%	△3%

※電気使用あたりのCO2排出量は、基準年度のCO2排出係数0.366kg-CO2/kWh
 ※2012年から改正化審法(輸入量)で数値化
 ※2013年から全社実績

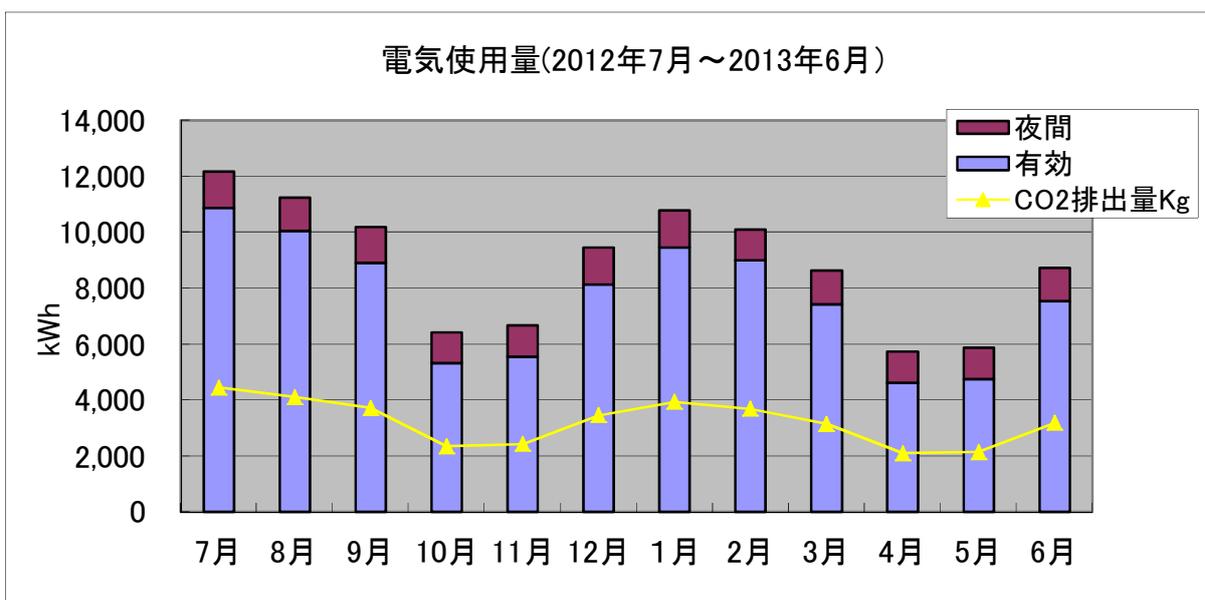
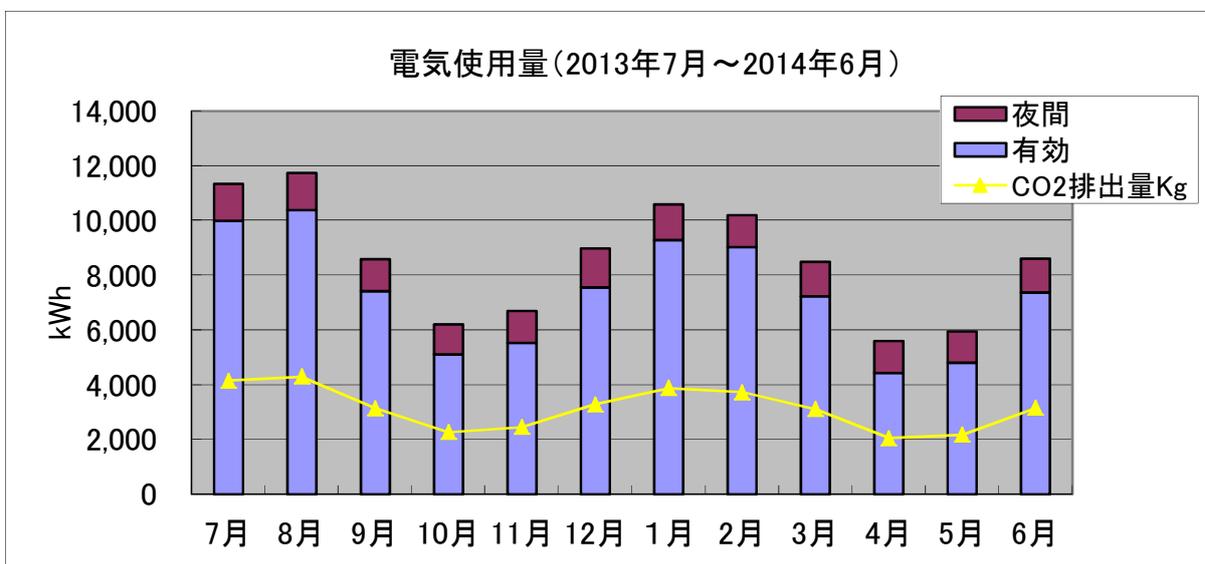
電気使用量

(CO2排出係数:0.366kg-CO2/kWh)

2013年7月～2014年6月

2012年7月～2013年6月

	全日kWh	有効kWh	夜間kWh	CO2(Kg)	全日kWh	有効kWh	夜間kWh	CO2(Kg)
7月	11,331	9,990	1,341	4,147	12,174	10,878	1,296	4,456
8月	11,747	10,386	1,361	4,299	11,236	10,051	1,185	4,112
9月	8,578	7,428	1,150	3,140	10,191	8,911	1,280	3,730
10月	6,203	5,118	1,085	2,270	6,424	5,326	1,098	2,351
11月	6,704	5,534	1,170	2,454	6,667	5,567	1,100	2,440
12月	8,978	7,551	1,427	3,286	9,451	8,147	1,304	3,459
1月	10,604	9,280	1,324	3,881	10,773	9,457	1,316	3,943
2月	10,191	9,020	1,171	3,730	10,090	8,995	1,095	3,693
3月	8,504	7,241	1,263	3,112	8,631	7,434	1,197	3,159
4月	5,601	4,437	1,164	2,050	5,747	4,616	1,131	2,103
5月	5,944	4,810	1,134	2,176	5,873	4,765	1,108	2,150
6月	8,610	7,382	1,228	3,151	8,721	7,544	1,177	3,192
合計	102,995	88,177	14,818	37,696	105,978	91,691	14,287	38,788



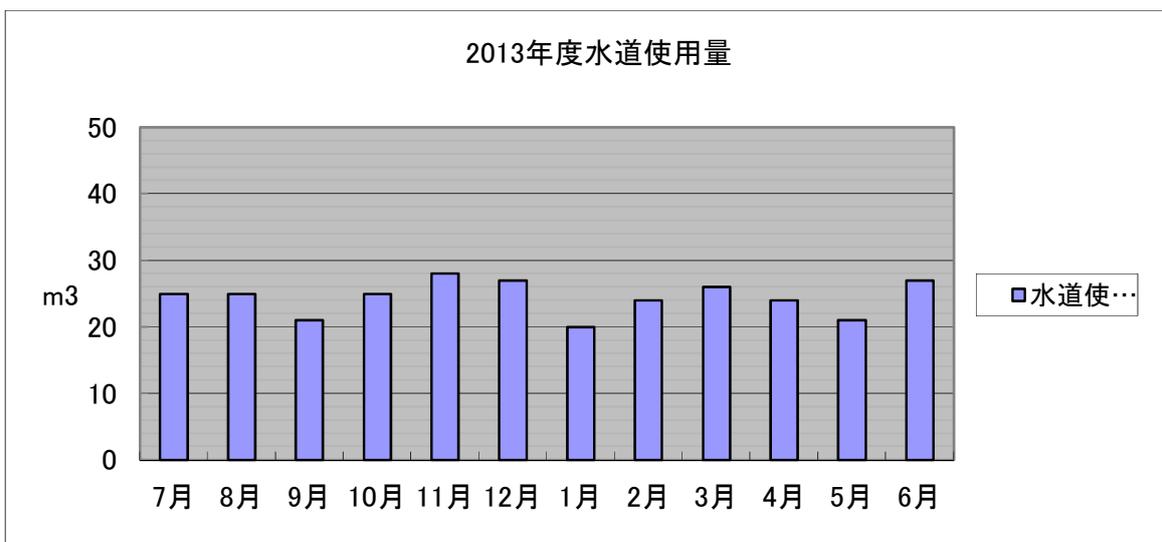
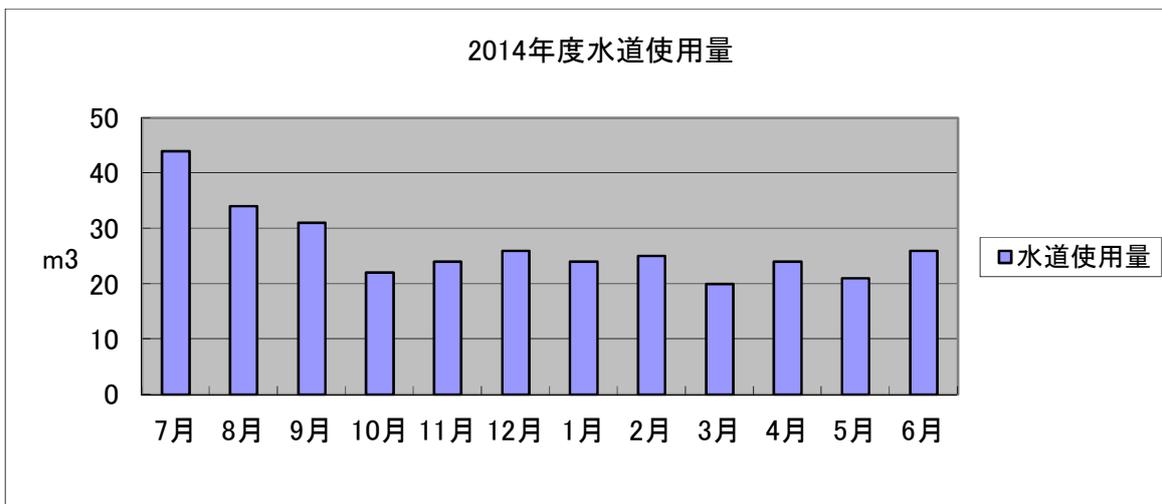
水道使用量 本社

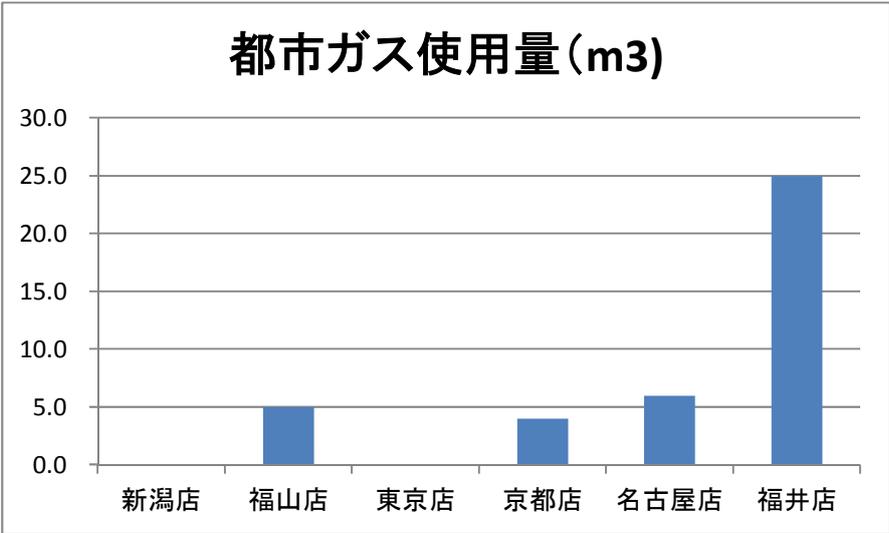
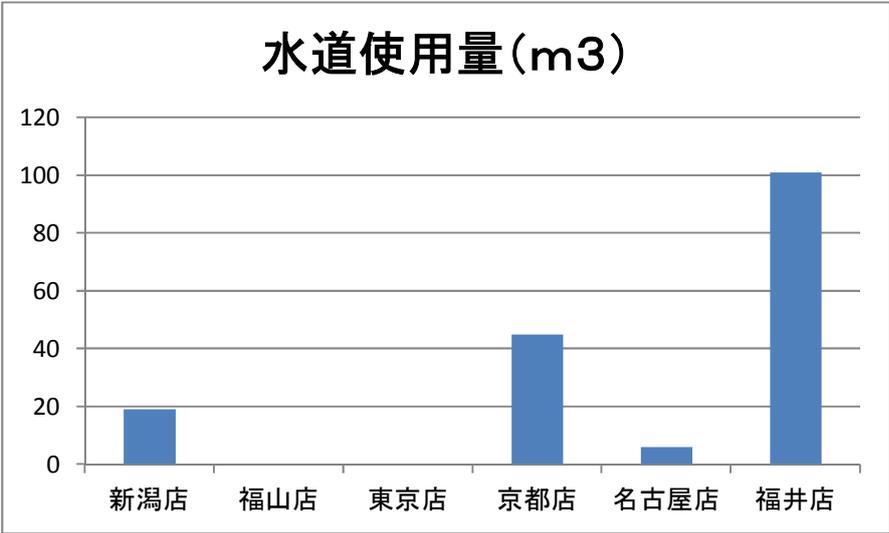
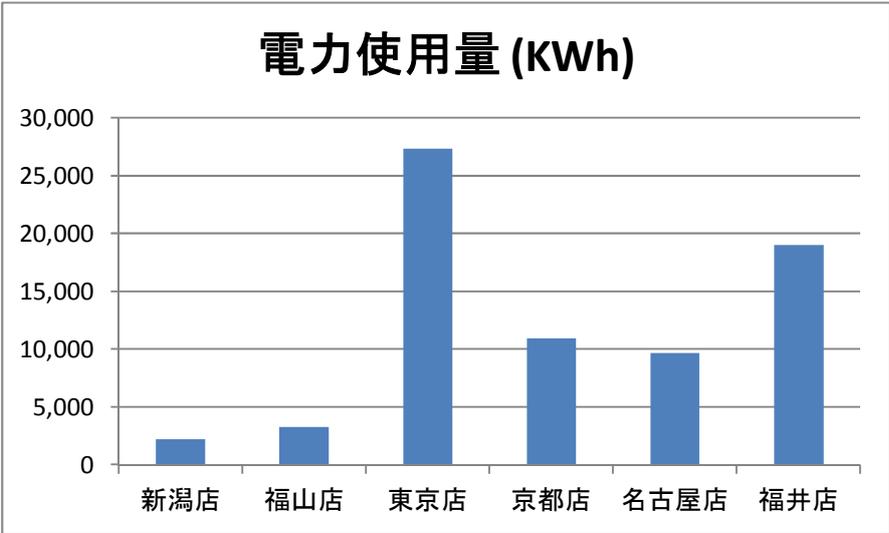
2013年7月～2014年6月

	m ³
7月	44
8月	34
9月	31
10月	22
11月	24
12月	26
1月	24
2月	25
3月	20
4月	24
5月	21
6月	26
合計	321

2012年7月～2013年6月

	m ³
7月	25
8月	25
9月	21
10月	25
11月	28
12月	27
1月	20
2月	24
3月	26
4月	24
5月	21
6月	27
合計	293

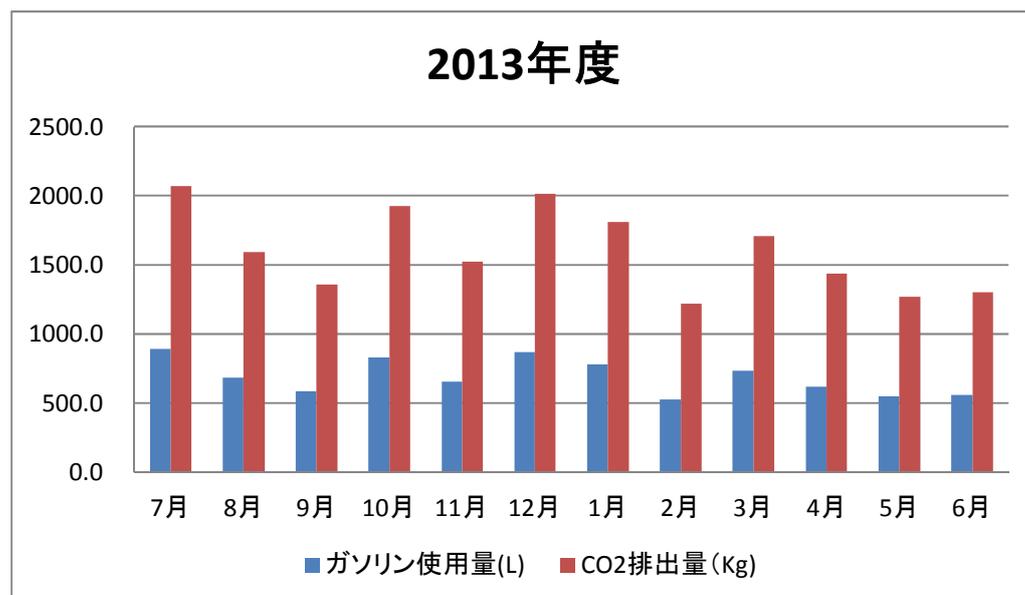
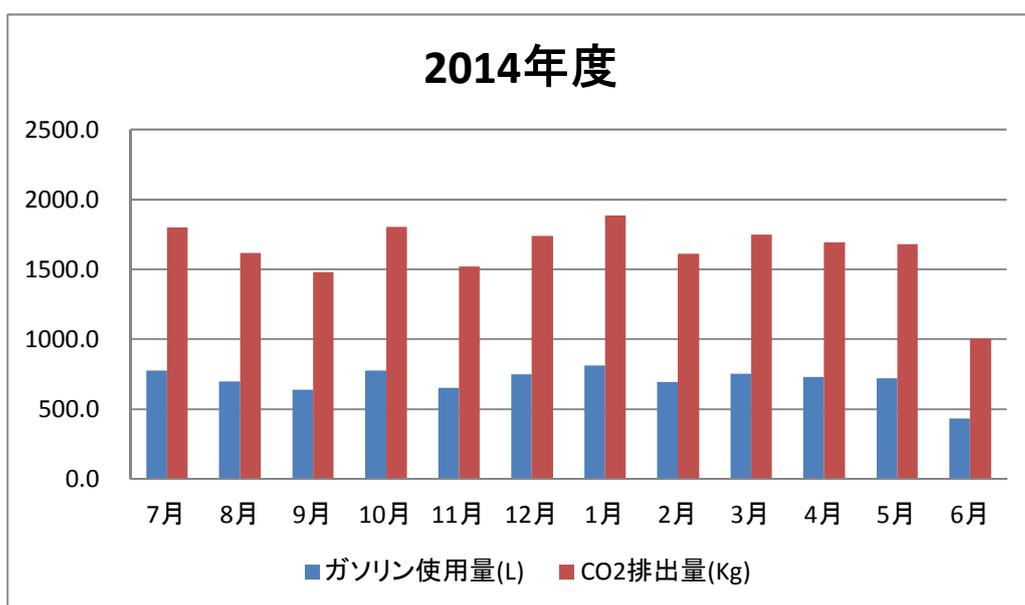




ガソリン使用量（大阪本社）

排出係数 2.32166

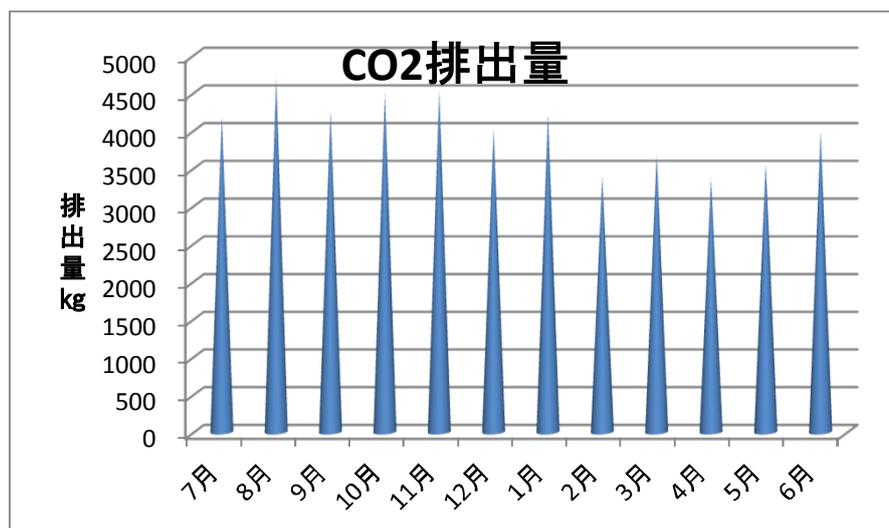
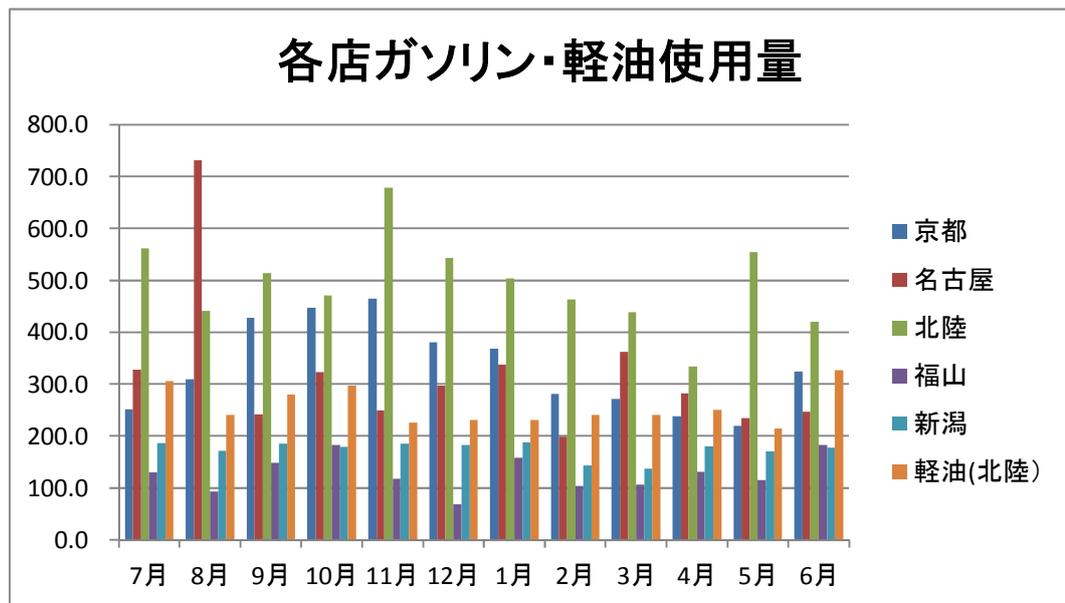
	2013年		2014年	
	合計	排出量Kg	合計	排出量Kg
7月	775.9	1801.376	892.1	2071.13
8月	697.4	1619.126	686.2	1593.193
9月	638.4	1482.148	584.7	1357.498
10月	778.4	1807.18	830.6	1928.44
11月	655.0	1520.687	657.6	1526.631
12月	750.2	1741.709	868.0	2015.108
1月	812.6	1886.581	779.8	1810.477
2月	695.9	1615.643	524.9	1218.57
3月	754.2	1750.996	737.3	1711.69
4月	730.7	1696.437	619.3	1437.758
5月	724.4	1681.811	548.0	1272.363
6月	433.6	1006.672	561.4	1303.426
合計	8446.7	19610.4	8289.9	19246.3



ガソリン使用量（各店）

ガソリン 排出係数 2.322
 軽油 排出係数 2.619

	京都	名古屋	北陸	福山	新潟	軽油(北陸)	排出量Kg
7月	252.0	327.6	561.3	130.0	186.0	305.0	4181
8月	308.9	731.6	440.8	93.1	172.0	240.0	4684
9月	427.4	242.0	513.2	147.7	184.6	280.0	4251
10月	447.4	322.3	470.0	182.3	178.9	297.0	4495
11月	464.8	248.6	678.6	117.9	185.3	225.0	4525
12月	380.2	297.1	543.6	67.5	182.2	230.0	4017
1月	368.4	337.2	503.9	157.9	187.2	230.0	4212
2月	281.5	199.1	463.0	103.8	143.2	240.0	3393
3月	271.6	361.7	438.8	106.0	137.5	240.0	3683
4月	238.0	282.8	334.3	130.5	180.3	250.0	3362
5月	219.0	233.9	554.1	114.2	170.8	215.0	3563
6月	323.8	246.3	419.6	182.4	177.8	326.0	3988
合計	3982.9	3829.9	5921.1	1533.4	2085.9	3078.0	48355

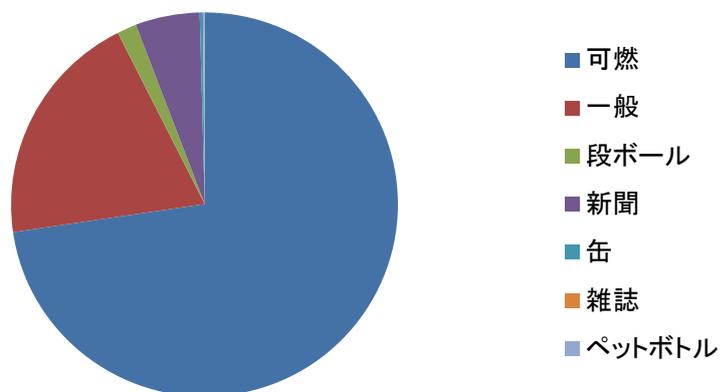


25年7月～26年6月

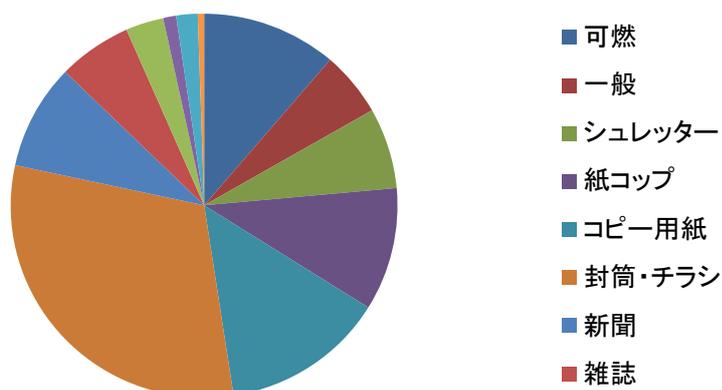
	新潟	福山	京都	名古屋	北陸	支店計		本社
可燃	12.00	0.00	790.57	94.90	215.30	1,112.77	可燃	123.20
一般	58.00	57.38	5.00	30.60	153.50	304.48	一般	59.43
段ボール			25.48	0.00		25.48	シュレッター	74.20
新聞	1.00		0.00	81.00		82.00	紙コップ	112.70
缶			4.12			4.12	コピー用紙	148.90
雑誌			0.00			0.00	封筒・チラシ	336.40
ペットボトル			2.14			2.14	新聞	97.00
							雑誌	67.00
各店計	71.00	57.38	827.31	206.50	368.80	1,530.99	段ボール	34.32

缶	12.00
ビン	19.50
ペットボトル	6.00
	1,090.65

各店事業系ごみ (一般廃棄物)



本社事業系ごみ (一般廃棄物)



2014年度（2013年7月～2014年7月）

環境管理計画

承認	作成
年月日	年月日
26.11.20	26.11.17
○	○

環境方針	環境目的及び実施項目	スケジュール	取組結果とその評価	評価 ○△×	問題の是正及び予防
		2014年度			
1. 環境に悪いことをしない 《法規制の遵守》	環境関連法規 (1)コンプライアンス(法令遵守)のリスク管理 ①風通りの良い職場環境と円滑なコミュニケーション	→	①環境法他関係届出書等を管理本部で一括管理、ファイル化を継続している。取引契約書等の営業分野も含めてコンプライアンスのリスク管理は継続している。社員へ周知、社内コミュニケーションはまだできていない。	△	外部からの問合せも有り、CSRを推進へ社内規定やマニュアルの準備に取り組む。
2. 環境に良いことをする 省資源活動 《事業系一般廃棄物量の削減》	(1)一般廃棄物から資源ゴミ分別 ①コピー用紙購入量とカウンター量の管理 ②事務所・倉庫の整理・整頓	→	①全店のコピー用紙購入量と本社のカウンター量の管理されています。東京店の裏紙を名古屋、管理本部へ送り使用しています。	△	紙メディアから、電子化へ可能な物から始める。事業所内”5S”にも、当然のこととして取り組み、社内コミュニケーションを計る。
		→	②事務所・倉庫の整理・整頓は徐々に行われてます。		
	(2)電力量使用あたりのCO2排出量の削減 ①空調フィルターの定期的な清掃 ②室外機の運転環境整備 ③夏季日射対策の実施	→	使用電力量(本社): 65/66期 2.4%増加 → 66/67期 2.8%減少(対前年) 最大デマンド 13年8月 68Kw → 14年7月 59Kw	○	今夏の使用電力量・最大デマンド共に天候の影響で削減されたようです。電気料金に係わる最大デマンドは注意を払っています。 ②台風で葺きが壊れたので撤去。
		→	①7月にフィルター掃除。 ②葺きで室外機をカバーする。 ③玄関の水撒き		
		→	①3月にカムリをハイブリット車へ切り替えた効果が本社ガソリン量は6.6%(対前年3～6月)減少した。全社対前年比CO2排出量では4.2%削減。 ②エコドライブ日誌の管理。		
	(4)総商品販売量の数値化 ①販売上位品の管理から。 ②化学品のリスク管理 (自社取扱商品の分析)	→	①総商品販売量の数値化は、売上金額で判断し、数値化から化学物質の管理に特化する。	×	化管法・化審法の規制化学品の販売・輸入の管理をマニュアル化する。
(6)社内グリーン購入の品目の検討と推進	→	②化管法・化審法の輸入化学品のSDS(安全データシート)の受渡の文書化。	△	社内データベース化など規制化学品の管理方法を具体化していく。	
3. 環境配慮型製品の販売・環境情報提供	①環境関連製品の販売実績の見える化 ②社外提供のSDS等の管理	→	事務用品等の購入先のグリーン商品購入実績集計表でグリーン商品購買は推進継続。	△	乾電池の回収箱を本社4階へ設置。
		→	①環境関連設備の販売実績や弊社に関して掲載される新聞記事・広告のファイル化。 ②化審法対応SDS制度のマニュアル化	○	SDS受領書を管理本部で一元管理ファイルする。※(4)②に関連する。

2015年度（2014年7月～2015年6月）



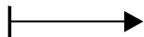
環境管理計画

承認	作成

作成	2014年11月17日
改訂	

環境方針	環境目的及び実施項目	対象組織	実施担当者	継続・新規区分
1. 環境に悪いことをしない 《法規制の遵守》	環境関連法規 (1)コンプライアンス(法令遵守)のリスク管理 ①CSRマニュアル作成・文書化（今期の重点項目）	全社	管理本部 本山	新規実施
2. 環境に良いことをする 省資源活動 《事業系一般廃棄物量の削減》	(1)事業系一般廃棄物から資源ゴミ分別 ①事務所・倉庫の整理・整頓。	全社 本社	管理本部 齊藤	継続実施
	(2)電力量使用あたりのCO2排出量の削減 ①空調フィルターの定期的な清掃。 ②室外機の運転環境整備。 ③夏季日射対策の実施。	本社 本社 本社	管理本部 本山	継続実施
	(3)自動車燃料使用量あたりのCO2排出量の削減 ①エコドライブ運動の継続	東京店除く	辻森	継続実施
	(4)化審法・化管法関連化学物質管理のマニュアル化 ①SDS(安全データシート)管理（今期の重点項目） ②化学品のリスク管理(自社取扱商品の分析)。	全社 本社	本山 本山	新規実施 継続実施
	(6)物流の効率化	本社	本山	継続実施
	(7)IT指標化	本社	本山	継続実施
	(8)社内グリーン購入品目の検討と推進	本社	打谷	継続実施
3. 環境配慮型製品の販売・ 環境情報提供	①環境関連設備の販売実績及び新聞記事・広告のファイル化。 ②SDS受領書を管理本部で一元管理ファイル化。	全社	本山	新規実施 新規実施

2015年度（2014年7月～2015年6月）



環境管理計画

承認	作成
○	○

作成	2014年6月24日
承認	2014年6月24日

環境方針	環境目的及び実施項目	担当者	スケジュール				
			7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	備考
京都店・福井店環境改善計画	5S活動の推進 ①不要品の廃棄 ②商品の置場の見直し ③置場の表示(パウチ) ④不良在庫の管理 ⑤定期清掃の実施	京都店 (担当者)	→				
		福井店 (担当者)			→	→	

1. 定期的法規制遵守評価表

当社では、下記の事項に付いて、1回／年 法規制遵守評価を実施する。

承認	評価者
○	○

法規制	チェック項目	評価の結果	苦情、訴訟の有無
1、環境基本法	①基本理念	○	無
2、地球温暖化対策法	①温室効果ガスの排出抑制等	○	無
3、廃棄物処理法及び大阪市条例	①事業系廃棄物は適正に区分し、処理されているか。	○	無
	②事業系廃棄物は資格を持った業者に処理・処分の委託をしているか。	○	
	③事業系廃棄物の保管は適切にされているか。	○	
	④事業系廃棄物は適切な掲示がなされているか。	○	
4、家電リサイクル法	①家電廃棄物の引渡しは適切にされているか。	○	無
5、化管法（SDS制度）	①対象化学品の販売時に、MSDSの提供がされているか。	○	無
	②書類の保管がなされているか。	△	
	③行政の指導があった場合、それに対応しているか。	○	
6、消防法	①安全確保の管理は適切になされているか。	○	無
	②消防用設備等の点検・報告が適切にされているか。	○	
	③行政の指導があった場合、それに対応しているか。	○	
7、毒物劇物取締法	①劇物表示があるか。	○	無
	②鍵の掛かる保管庫に保管されているか。	○	
	③入出庫の管理と書類の保管ができていますか。	○	
	④行政の指導があった場合、それに対応しているか。	○	
8、改正化審法（2011.4.1）	①1化学物質につき、1企業当たり1.0トン以上の製造（輸入）数量等について、経産省へ届出義務	○	無
9、労働安全衛生法（一部改正 2014.6.25公布）	①労働者の安全と健康の確保対策を一層充実するための改正1～7項目、項目ごとに施工時期が異なる。	○	無

（不適合が発見された場合）

不具合が発見された場合環境管理責任者へ連絡指示を受ける。

2. 違反、訴訟等の有無

過去3年間、法規制違反及び訴訟はありません。

各営業拠点に適用される市条例

東京店： 東京都環境局の所管する主要な条例等

法規制	チェック項目
1. 東京都環境基本条例	・環境の保全に関する基本的施策
2. 環境確保条例	・都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 （平成12年 東京都公害防止条例を全面的に改正）
3. 自然保護条例	・東京における自然の保護と回復に関する条例
4. 東京都廃棄物条例	・廃棄物の発生を抑制、再利用の促進、適正な処理
5. 環境アセスメント条例	・東京都環境影響評価条例

京都店： 京都市環境政策局

法規制	チェック項目
1. 京都市環境基本条例	・環境保全について、基本理念
2. 京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	・廃棄物の発生を抑制及び再生利用の促進による減量、適正処理並びに生活環境の清潔の保持
3. 京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例	・自社産業廃棄物の保管用地の届出、保管場所の明示 ・自社産業廃棄物の運搬指示票の作成、交付、携行 ・産業廃棄物処理施設の維持管理記録の閲覧、施設の公開 ・環境の保全上容易に回復し難いと判断された時の産業廃棄物の搬入一時停止命令、即時搬入停止措置
5. 京都市環境影響評価等に関する条例	・東京都環境影響評価条例

名古屋店：名古屋市

法規制	チェック項目
1. 名古屋市環境基本条例	・環境保全について、市、事業者及び市民の責務を明らかにするとともに、施策の基本となる事項
2. 市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例	・略称「環境保全条例」、公害防止条例を全面的に見直し
3. 名古屋市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	・廃棄物の減量、適正処理
4. 名古屋市空き缶等散乱の防止に関する条例	・空き缶等の投棄の禁止
5. 名古屋市産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の促進に関する条例	・処理の委託における確認など

福井店： 福井市（福井県）

法規制	チェック項目
1. 福井市環境基本条例	・環境の保全について、基本理念
2. 福井市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	・自らの責任において適正に処理すること ・再生利用等を行うことによりその削減 ・国及び地方公共団体の施策に協力
3. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・マニフェスト(産業廃棄物管理票)制度

福山店： 福山市

法規制	チェック項目
1. 福山市環境基本条例	・環境の保全について、基本理念
2. 福山市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例	・廃棄物(産業廃棄物以外)の減量、再生利用及び適切な処理並びに生活環境の清潔の保持
3. 福井市空き缶等の散乱防止及び環境美化に関する条例	・空き缶等の散乱防止
3. 廃棄物処理法(広島県)	・マニフェスト(産業廃棄物管理票)制度

新潟店： 見附市

法規制	チェック項目
1. 見附市環境基本条例	・環境の保全について、基本理念
2. 見附市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例	・廃棄物(産業廃棄物以外)の減量、再生利用及び適切な処理並びに生活環境の清潔の保持
3. 見附市ふるさと美化条例	・ごみのポイ捨て禁止
4. 産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例(新潟県)	・マニフェスト(産業廃棄物管理票)制度

代表者による全体の評価と見直し

当期は、弊社関連の業界におきましては、海外移転や業態整理などの好機ととらえ、積極的な対応が見られました。事業基盤である生産資材の販売事業につきましてはその影響を免れず、顧客工場の海外展開や縮小など販売量の減少が続きました。その中、弊社では、事業としてマーケティング(商社)、プロダクト(生産、加工)、コーディネート(上記2部門を活用したソリューション)の3ビジネス部門を確立し、顧客への新規商材の提案、新規マーケットへの参入、新商材の取り扱いなど、全社拡販努力をいたしました。

現在、弊社ホームページを作り直しております。新しいサイトで、環境に配慮した事業活動の情報開示も推進する為に、環境活動レポートを更に活用することを事務局に指示致しました。

1. 環境に悪いことをしない

《法規制の遵守》

- (1) コンプライアンス(法令遵守)のリスク管理の為、①CSRマニュアル作成・文書化を次年度の重点項目に致します。

2. 環境に良いことをする省資源活動

《事業系一般廃棄物量の削減》

EA取組から電力使用量、自動車燃料使用量は減少しています。マーケティング(商社)部門で、上記の(1)にも関連しますが、化学物質管理をマニュアル化して、従業員全体で環境への配慮を推進致します。

3. 環境配慮型製品の販売・環境情報提供

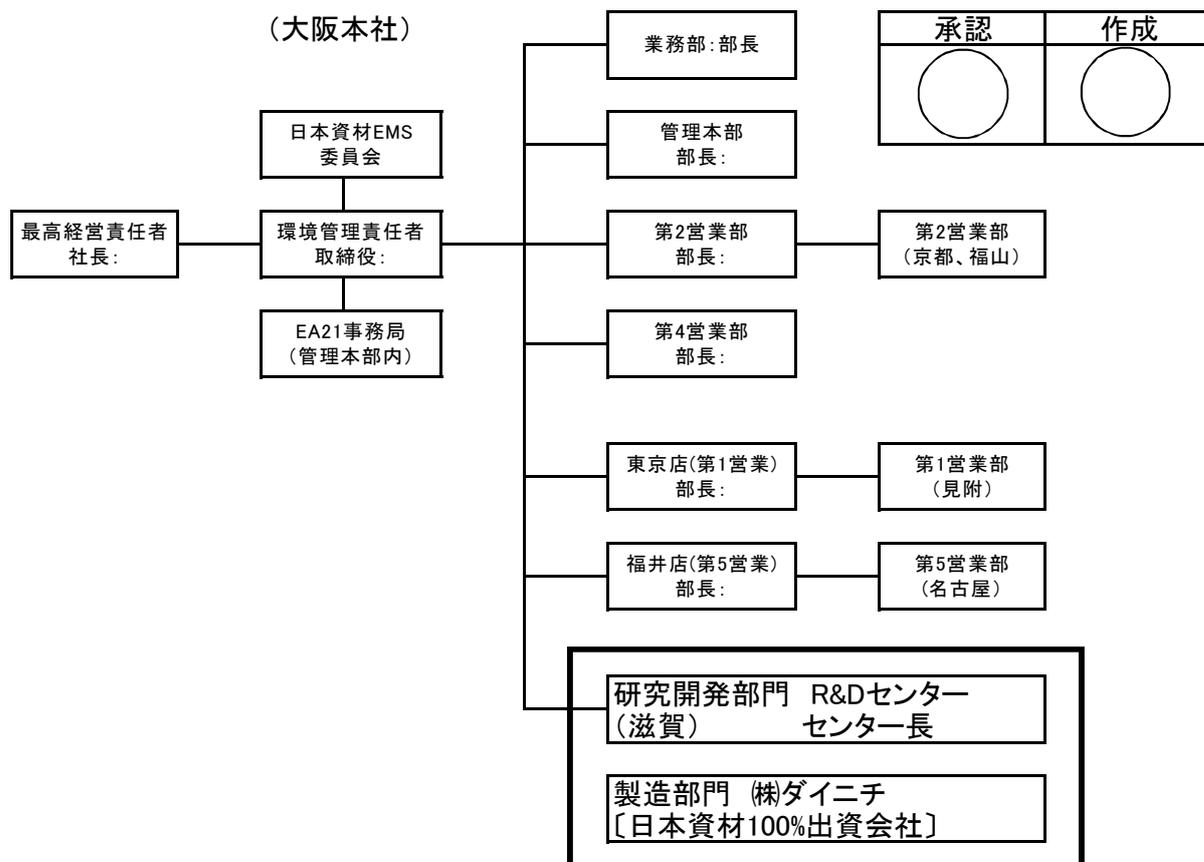
弊社の環境関連設備の販売実績をファイル化して、HPサイトで情報公開できるようにする。

食料残渣リサイクルシステム



日本資材株式会社 実施体制図及び役割・責任・権限表

改正日：2013年10月1日



注： 研究部門であるR&Dセンターは、(株)ダイニチの敷地内にあり、(株)ダイニチと共に環境活動に取り組んでいます。[EA21認証・登録済]

	役割・責任・権限
最高経営責任者 (社長)	・環境方針の決定と環境経営システムの見直し
環境管理責任者	・環境負荷及び環境への取組状況の把握・評価結果を踏まえて、具体的な環境目標及び環境活動計画を査定する。 ・エコアクション21に関する環境経営システム(EMS)の構築・運用を円滑に行う。
EMS委員会 ※	・環境負荷及び環境への取組状況の把握・評価する。 ・環境配慮型製品の販売・環境情報の提供を担う。
EA21事務局	・事務局として、環境責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般及び、環境リスク管理を所管する
部門長 ※	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

※EMS委員会は、定例(毎月または隔月)部長(EMS委員)会内で同時に開催される。

※各部門は、各部に記載している者を責任者とする。